



スーパーヘッド ステージ ボアストロークアップキット 取扱説明書

ボア径 57 mm ストローク 48.5 mm 排気量 123.9 cc

商品番号：01-06-5102B

適応車種およびフレーム番号

Ape : AC16-1000001~

XR50モタード: AD14-1000001~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

このキットの取り付けにはエンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要になります。適合車種専用のホンダ純正サービスマニュアルを準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

このキットを取り付けるには、クランクケースの加工が必要となります。(別紙の「クランクケースのポーリング加工について」をよくお読み下さい。)なお、クランクケースの加工をすると、クランクケース本体の耐久性は低下します。それによりクランクケースが損傷する場合があります。あらかじめご了承下さい。

このキットを取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

シリンダーヘッド側面(スパークプラグホール上側面)にシリアルNo.を刻印してあります。部品注文時にシリアルNo.が必要になる場合があります。

ノーマルおよび当社製以外の点火系データがありませんので他社製品の点火系は絶対に使用しないで下さい。

スパークプラグは焼け具合により熱価を設定して下さい。尚、抵抗入りスパークプラグの場合は必ず抵抗入りの物をご使用下さい。

50ノーマルクラッチでは容量が不足し、滑りが生じます。当社製乾式クラッチ及び5Diskキットをお勧めします。

オイルポンプは必ず容量の大きな物に交換して下さい。

別紙の「当社推奨エンジンパーツ」を参照して下さい。

必要に応じてオイルクーラーを装着して下さい。

エンジンオイルはAPI S F級以上で、SAE 10W-40 / 15W-50程度の物をご使用下さい。

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。また、燃料タンクのガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合はハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

使用限界回転数は1200rpmです。エンジン回転計を取り付け、必ず限界回転数以下でご使用下さい。

スプロケットは出力に応じた物に変更して下さい。

このキットは単独で使用出来ません。必ずエンジンに見合ったキャブレター、マフラーを装着して下さい。別紙の「当社推奨エンジンパーツ」を参照して下さい。

このキットのシリンダーはロングタイプになっている為に50用エキゾーストマフラーの取り付けが出来ない場合があります。

このキットは当社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは当社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

液体パッキン等は使用しないで下さい。オイル通路を塞ぐ可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、道路運送車両法の保安基準を満たした上、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

~ 特 徴 ~

ノーマル42×35.6・49ccから57×48.5・123.9ccへ一気に排気量アップ。

スーパーヘッドステージ と123.9ccの組み合わせで絶大な効果を発揮します。

クランクシャフトは低振動を目指したバランスカットで軽量に仕上がっており、ジャーナル径はノーマル20mmに対し、22mmと高剛性を図っています。クランクピン部は通常の圧入組み立てから更に溶接を施し、振れ防止をしています。

急発進・急加速

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

走行前の注意

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

お願い

このキットを取り付け、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、道路運送車両法の保安基準を満たした上、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行って下さい。

原付2種の登録を済ませ、付属の原付2種マークをお貼り下さい。

当社推奨エンジンパーツ

このキットは当社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは当社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

推奨パーツ		品番および備考
オイルポンプ	スーパーオイルポンプキット	01 - 16 - 0061
クラッチ	乾式クラッチ	02 - 02 - 011 / 013
	5diskクラッチキット	02 - 01 - 005
点火系	ノーマルC.D.I.	ホンダオリジナル
	ハイパーC.D.I.	07 - 02 - 19
	C.D.I.マグネットキット	05 - 02 - 071
キャブレター	京浜 PE28キャブレターキット	

このキットのシリンダーはロングタイプになっている為にApe50用エキゾーストマフラーの取り付けが出来ない場合があります。

当社製取り付け可能エキゾーストマフラーはApe100用トラックロードストリートアップです。

又、Ape50用BOMBER-Lは、ロングシリンダー用のサイレンサーステ-キット(04-00-020)を用意しておりますので、ステ-キットと併用してBOMBER-Lを使用して下さい。(Ape)

その他

オイルクーラー

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量が増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキット(09-07-121:本体色ブラック/09-07-221:本体色シルバーの装着をお薦めします。(Apeのみ、XRモタード、XR100R、CRF100Fは除く。)

温度計

このキットのシリンダーサイドにはスティックタイプの温度計センサーの取り付けができ、下記メーターの取り付けが可能です。

・ミディアムLCDタコメーター&温度計(09 05 0141:150 表示)

・デジタル温度計(07 04 053:99 表示)

使用限界回転数

使用限界回転数は1200rpmとなります。エンジン回転計を取り付け、必ず限界回転数以下でご使用下さい。

特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意ください。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

バルブスプリングリテーナー

このスーパーヘッドステージ3は、チタンバルブスプリングリテーナーを標準装備しております。スチールリテーナーに比べ約40%の軽量を実現しております。表面にはHV2300以上もの表面硬度をもつSPVDコーティングを採用しております。従来のTinコーティングよりも耐衝撃性、耐摩耗性を向上させています。ただし、耐久性につきましては、スチール製に比べ劣りますので定期的な点検を必ず行い、損傷、消耗が有れば、新品と交換して下さい。又、耐久性を重視される方は、スチール製バルブスプリングリテーナーに交換下さい。

インテーク側は、ホンダ製品で使用可能のバルブスプリングリテーナーがございます。品番14771-MR8-000

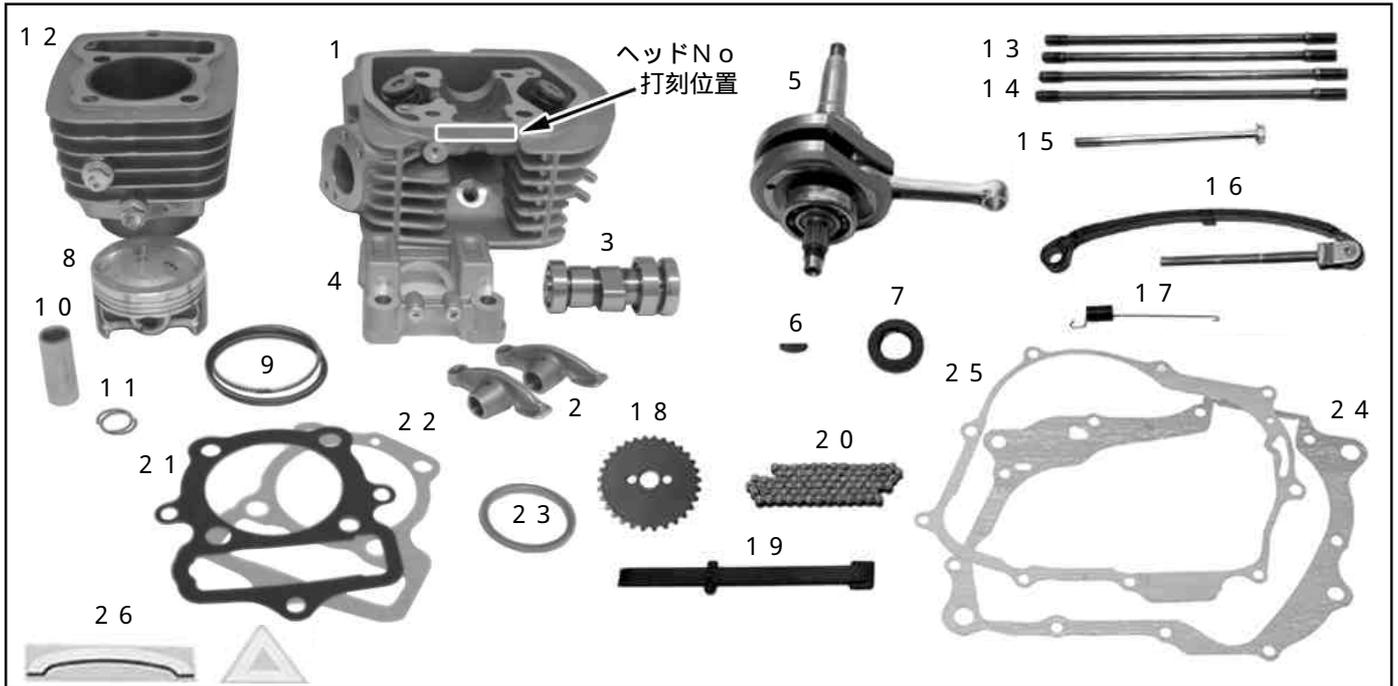
エキゾースト側 武川品番:000-03-007

ピストン

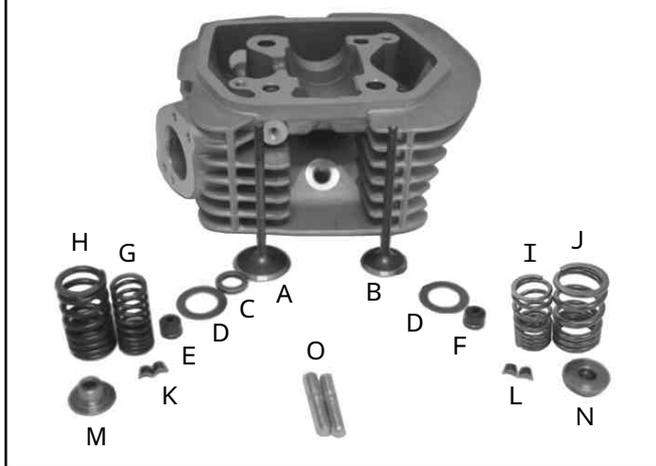
このキットのピストンスカート部表面に初期なじみ及びフリクションロスの低減を目的にモリブデンコーティングを施しています。

これによりピストン表面硬度のUP、摩擦抵抗の低減を計っています。ただし、コーティングは永久固着ではありませんので使用状況によっては初期にはがれることがありますが、それにより焼き付き等のトラブルの心配はありません。

~ 商 品 内 容 ~



シリンダーヘッドインナーパーツ



カムホルダーリペア



シリンダーリペア



クランクシャフトリペア



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	シリンダーヘッドサブASSY.	1	01-03-077
2	ロッカーアーム	2	000-08-007
3	カムシャフトCOMP.	1	01-08-0441
4	カムホルダーCOMP.	1	000-08-009
5	クランクシャフトCOMP.	1	01-10-0101
6	ウッドラフキー	1	000-10-0007
7	オイルシール	1	000-06-0006
8	ピストン	1	000-02-119
9	ピストンリングセット	1	01-15-017
10	ピストンピン	1	000-02-106
11	ピストンピンサークリップ	2	000-02-105
12	シリンダーASSY.	1	01-01-042
13	シリンダースタッドボルトB (19.5mm)	2	000-06-0001
14	シリンダースタッドボルトB (20.3mm)	2	000-06-0002
15	シリンダーヘッドマウントボルト 6x11.0	1	000-06-0007
16	カムチェーンテンショナーCOMP.	1	000-06-0003
17	カムチェーンテンショナースプリング	1	000-06-0004
18	カムスプロケット 30T	1	000-03-042
19	カムチェーンガイド	1	000-06-0005
20	カムチェーン 90L	1	01-14-005
21	シリンダーヘッドガスケット	1	000-13-004
22	シリンダーガスケット	1	000-13-008
23	エキゾーストパイプガスケット	1	000-13-017
24	クランクケースガスケット	1	11191-KN4-T00
25	Rクランクケースカバーガスケット	1	11393-GCR-T00
26	原付2種マークセット	1	TS-0001-0001

番号	部 品 名	個数	リペア品番
A	インテークバルブ	1	14711-149-T41
B	エキゾーストバルブ	1	14721-149-T02
C	バルブスプリングシートインナー (IN)	1	14777-MR8-T00
D	バルブスプリングシートアウト	2	14775-MR8-T00
E	バルブステムシール (IN)	1	000-03-040
F	バルブステムシール (EX)	1	000-03-005
G	インナーバルブスプリング (IN)	1	14761-GEY-T30
H	アウトバルブスプリング (IN)	1	14751-GEY-T10
I	インナーバルブスプリング (EX)	1	14761-KSJ-T01
J	アウトバルブスプリング (EX)	1	14751-KSJ-T01
K	バルブコッター (IN)	2	000-03-041
L	バルブコッター (EX)	2	000-03-006
M	バルブスプリングリテーナー (IN)	1	14772-MR8-T00
N	バルブスプリングリテーナー (EX)	1	14772-181-T00
O	スタットボルト	2	000-03-039
P	カムストッパー	1	12211-SPH-T00
Q	ハンズクリュー 5x12	2	94000-05012-00
R	オイルブラクボルト	2	90145-GEY-T00
S	アルミシーリングワッシャ	2	09-071-011
T	ラジアルボールベアリング	2	000-10-0005
U	タイミングスプロケット	1	000-10-0009

リペアパーツ品番の部品の入り数は全て1パーツとなります。
部品発注時は必ず必要数をご注文下さい。



注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。



警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

～クランクシャフト取り付け要領～

キット内容を確認して下さい。

エンジン脱着作業はサイドスタンドを取り外す必要がありますので、メンテナンススタンド等を用いて車両を確実に支えて下さい。

作業は必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、作業を行ってください。

エンジンの取り外し

エンジンオイルを抜き取り、以下の部品を取り外します。

シート、タンク、エキゾーストマフラー、キャブレター、ドライブスプロケット、キックアーム、Lステップ、チェンジベダル

以下の接続を外します。

ブリーザーホース、クラッチケーブル、スパークプラグキャップ、ACジェネレータカバー、エキサイタルコネクタ

エンジン下部にジャッキ等の適当な台を置き、エンジンを車体から取り外します。

フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。

シリンダーヘッド、シリンダー等の取り外し

シリンダーヘッド、シリンダー、シリンダースタットボルトを取り外します。

シリンダーヘッドカバー、シリンダーヘッドカバーボルト、シリンダーヘッド締め付けナット、ワッシャ、ノックピン等は異常がなければ再使用します。汚れを取り除き、無くさないように保管して下さい。

カムシャフトホルダー、アジャストボルト、アジャストナット、ロッカーアームシャフトは再使用します。異常がないか点検し、汚れを取り除いて無くさないように保管して下さい。

クランクケースの分割

フライホイール、ステーターベース、ニュートラルスイッチを取り外します。

Rクランクケースカバーを取り外し、オイルスルー、オイルスルースプリングを取り外します。ナット、ロックワッシャを取り外し、プライマリードライブギア、カラー、オイルスルーピンを取り外します。クラッチ周りの部品、ギアシフト周りの部品、オイルポンプ、キックスターターリターンズプリング、スプリングカラーを取り外します。

クランクケースボルトを取り外してクランクケースを分割し、クランクシャフト、カムチェーン、ミッション等を取り外します。

Lクランクケースのクランクシャフト取り付け部のオイルシールを取り外します。

クランクケースの加工

クランクケースは加工が必要となります。詳しくは別紙の「クランクケースのポーリング加工について」をお読み下さい。

クランクケースの組み立て

オイルシール 21×36×7を、Lクランクケースに取り付けます。ミッション等と、キットのカムチェーン、クランクシャフトを組み込みます。

ノックピンを取り付け、キットのガスケットをクランクケースに合わせ、クランクケースボルトを取り付けます。

締め付け後、クランクシャフトやトランスミッションなどのシャフト類がスムーズに回ることを確認して下さい。

クラッチ周りの部品、ギアシフト周りの部品、オイルポンプ、キックスターターリターンズプリング、スプリングカラーを取付けます。

オイルスルーピン、カラー、プライマリードライブギア、ロックワッシャをクランクシャフトに取り付け、ナットを取り付けます。

規定トルク 39 N・m (4.0 kgf・m)

オイルスルースプリング、オイルスルーを取り付け、Rクランクケースカバーボルトを対角に数回に分けて締め付けます。

ステーターベース、ニュートラルスイッチを取付け、キットのウッドラフキーを使用し、フライホイールをナットで取付けます。

規定トルク 64 N・m (6.5 kgf・m)

キットのシリンダースタットボルトを取り付けます。Lクランクケースに203mm、Rクランクケースに195mmのシリンダースタットボルトを取り付けて下さい。

規定トルク 22 N・m (2.2 kgf・m)

～シリンダー取り付け要領～

ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。

⚠ 注意：取り付け面にキズを付けない事



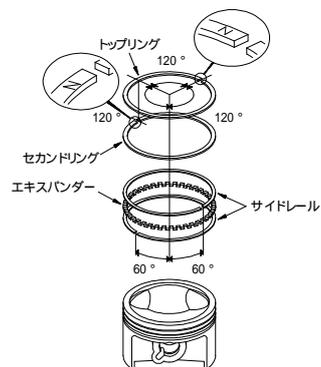
ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。



図を参考にしてN文字を上に向けピストンリングを取り付けます。

ピストンリングの色

TOP：ゴールド
2ND：ブラック



ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



ピストンピンにエンジンオイル又はモリブデン溶液を塗布し、ピストンの上面の が、排気側を向くようにピストンを取り付けます。



付属のピストンピンサークリップを取り付けます。ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。



カムチェーンテンショナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。



カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。アジャストボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。



詰っていたウエスを取り外します。クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。



ロックピン2個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付けます。



シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、均等に塗り広げます。



ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。



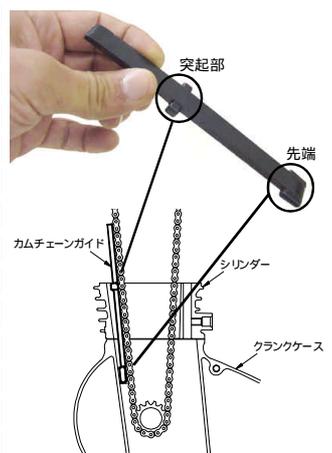
シリンダーにピストンリングの合い口がずれないようシリンダーを取り付けます。



ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。



カムチェーンガイドの先端をクランクケースの溝に、突起部をシリンダーの溝に合わせるようにして差し込みます。



シリンダーヘッド取り付け要領に従ってシリンダーヘッドを取り付けます。

～シリンダーヘッドの取り付け要領～

シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。



ノックピン2個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。



シリンダーヘッドガスケットカムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



ロックボルトでセットプレートを仮止めします。



シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めしておきます。

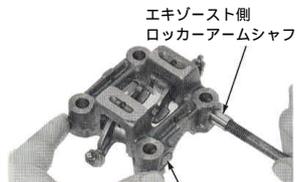
カムシャフトの取り付け時カムシャフトホルダーに付いているSTDロッカーアームのアジャスターナットを緩めます。



カムシャフトホルダーからロッカーアームを取り外します。

- エキゾースト側ロッカーアームシャフトに8mmボルトを軽くねじ込み、ロッカーアームシャフトを引き抜きます。

- インレット側ロッカーアームシャフトをドライバー等で押し、ロッカーアームシャフトを取り外します。



エキゾースト側ロッカーアームシャフト
インレット側ロッカーアームシャフト
ロッカーアームシャフトを点検します。

使用限度 9.91mm 以下交換



キット内のカムシャフトホルダーに、付属のロッカーアームを取り付けます。

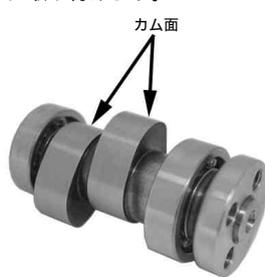
- ロッカーアームシャフトの切り欠きに、エンジンオイルを塗布し取り付けます。この時、インレットロッカーアームシャフトの切り欠きと、カムシャフトホルダーのボルト穴を合わせて取り付けます。エキゾースト側のシャフトもボルト穴を外側に向けて取り付けます。



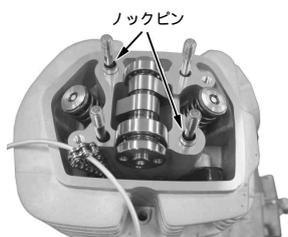
取り外したSTDロッカーアームからアジャスターボルトと、アジャスターナットをキットパーツのロッカーアームにエンジンオイルを塗布し、取り付けます。



キットのカムシャフトのカム面にエンジンオイル又は、モリブデン溶液を塗布し、カムシャフトのカム山は下側に向けシリンダーヘッドに取り付けます。



ノックピン2個を取り付けカムシャフトホルダーを取り付けます。



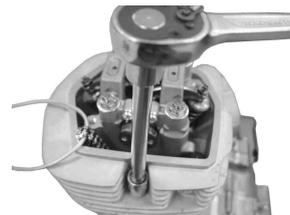
ワッシャ4個を取り付け、ナット4個の座面にエンジンオイルを少量塗布し、対角に数回に分けて均等に締め付けます。
規定トルク 20N・m
(2.0kgf・m)

△注意：必ず規定トルクを守る事。

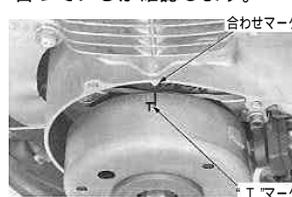


仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。
規定トルク 12N・m
(1.2kgf・m)

△注意：必ず規定トルクを守る事。



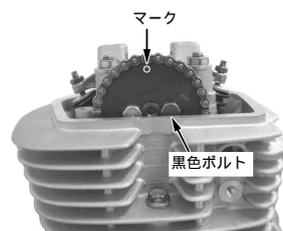
フライホイールの“T”マークがクランクケースの“ ”マークに合っているか確認します。



カムスプロケットの“O”マークが真上を向くようにカムチェーンを取り付け、カムスプットをカムシャフトにはめ込みます。



カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに合わせて六角ボルト2本を、仮止めします。このとき、ノックボルト(黒色ボルト)をインテーク側に取り付けます。



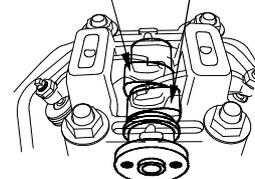
フライホイールを固定し、カムスプロケットの六角ボルト2本を締め付けます。
規定トルク 12N・m
(1.2kgf・m)

△注意：必ず規定トルクを守る事。



カムチェーンの調整を行います。フライホイールを反時計方向にまわし、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。

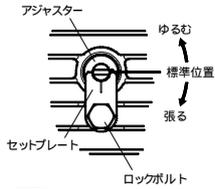
カム山を上 に します。



フライホイールを手で少し動かし、カムプロケットとのガタをみながら、アジャスターの“o”マークを張る方向やゆるむ方向にまわしガタが無く、フライホイールが重くならないところでロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。

規定トルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。



アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトで調整を行います。



規定トルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

フライホイールを反時計方向にまわして、カムプロケットの“O”マークが真上を向き、フライホイールの“T”マークがクランクケースの“ ”マークに合う位置で止めます。

アジャストスクリューで、バルブクリアランスを調整します。
IN: 0.08 (冷間時) ± 0.03
EX: 0.10 (冷間時) ± 0.03



アジャストスクリューを合わせ、アジャストナットを締め付けます。

規定トルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。



ナットを締め付け後、シクネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。

シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルを入れます。



シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリンダーヘッドカバーボルト2本でシリンダーヘッドに取り付けます。

規定トルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。



シリンダーヘッドの取り付けは、これで終了です。

エンジンオイルを注入します。
容量：1.0リットル
10W 40～15W 50
(マルチグレードタイプ)

純正サービスマニュアルを参照し、エンジンをフレームに、取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

キャブレターキットの取り付け要領を守りキャブレターを取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

エキゾーストマフラーキットの取り付け要領を守りマフラーを取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

エンジン始動

イグニッションキー、ガスコックがOFFになっているのを確認し、スパークプラグを取り外します。



しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを十分に行きわたらせます。

スパークプラグを取り付け、規定トルクで締め付け、プラグキャップを取り付けます。

規定トルク
10～12 N・m
(1.0～1.2 kgf・m)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。



新品のスパークプラグを使用する場合は、耐熱潤滑剤等をスパークプラグネジ部に少量塗布し、締め付ける事をお勧めします。

ガソリンコック、イグニッションキーをONにし、エンジンを始動させます。

⚠警告：必ず換気のよい場所で行う事

異音など異常が無いか確認します。

異常が無ければ50km程度ならし運転をし、再度バルブクリアランスを点検、調整します。

⚠警告：必ず冷間時に行う事

100km～150km位までは再度慣らし運転を行います。

慣らし運転終了後、異音やブローバイガスなど異常が無いかを確認します。

(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)

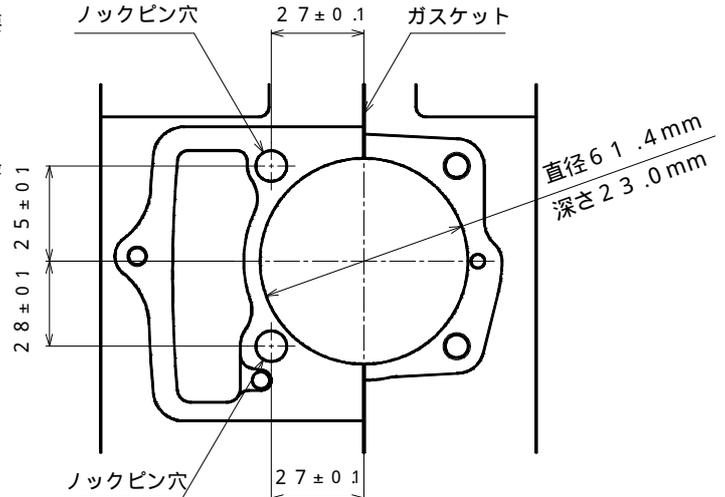
⚠警告：ピストンピンサークリップは再度使用しない事。

～ クランクケースのボーリング加工について ～

このキットのシリンダーを取り付ける際にはクランクケースの加工が必要です。

当社以外へクランクケースの加工を依頼される方へ

- ・加工寸法はクランクケースガスケットをはさんだ状態の仕上がりで直径61.4mm、深さ23.0mmになるように、削って下さい。
- ・又、ノックピン穴やオイル通路穴の肉厚は確保するように削って下さい。削りすぎは剛性の低下、オイル潤滑不良につながります。



～ O I L ジェット加工サービスのご案内 ～

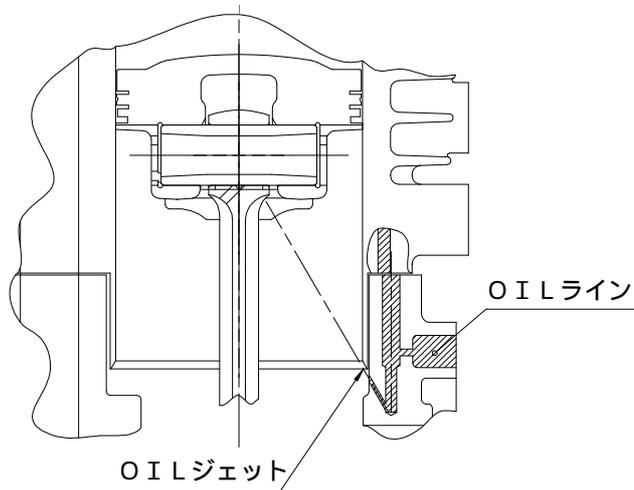
当社製スーパーヘッド及びスーパーオイルポンプをご使用のお客様に、ピストンクーリング・オイルジェット加工サービスを開始しました。

クランクケースから直接オイルを噴射させ、ピストンを冷却させる様に加工です。

通常オイルラインから追加工にて通路を作りますので油圧が必要以上、下がらない様に為、必ず当社製スーパーオイルポンプ装着が必要です。

注意

当社製スーパーオイルポンプ装着車が前提となります。
ベーパータイプオイルフィルター装着車が前提となります。
(乾式クラッチ/マグネシウム クラッチカバー/汎用オイルフィルター) 全て当社製



- ・クランクケースボーリング加工 (ボーリング加工のみ)
品番: 00-00-0103 ¥8,000
- ・オイルジェット加工 50cc用 (オイルジェット加工のみ)
品番: 00-00-0105 ¥8,000
- ・オイルジェット加工 100cc用 (オイルジェット加工のみ)
品番: 00-00-0106 ¥8,000
- ・クランクケース、ボーリング&オイルジェット加工 (ボーリング+オイルジェット加工) 50cc用
品番: 00-00-0101 ¥12,000
- ・クランクケース、ボーリング&オイルジェット加工 (ボーリング+オイルジェット加工) 100cc用
品番: 00-00-0104 ¥12,000

(送料別)

クランクケースの加工をご依頼される方へ

納期等は当社にお問い合わせ下さい。

- ・住所、氏名、電話番号、車種、フレームナンバーを必ず明記の上、ご同封下さい。
- ・必ず別紙の申し込み用紙に希望される加工を明記の上、同封下さい。(明記無き場合は、そのままご返送させて頂く可能性がございます。)
- ・送料はお客様負担です。
- ・当社取扱車種に限らせて頂きます。
- ・当社へご依頼される前に必ず下記作業を行って下さい。ガスケット・部品等が残っていて前処理が必要な場合は別途費用をいただくか、未加工の上返送させていただく事がありますのでご注意下さい。
ホンダ純正サービスマニュアルを参照してクランクケースを分割し、ノックピン、スタッドボルト、シフトリターンズpringピン、ドレンボルト、オイルポンプ、シフトリターンズpringピン、オイルフィルタースクリーン等の各付属部品を取り外してクランクケースのみの状態にして下さい。(圧入されているベアリング、オイルシールは取り外さなくてけっこうです。)
但し、Lクランクケースのクランクシャフト部のオイルシールは取り外して下さい。
スクレーパー等を用いてクラッチカバー、ジェネレータカバー、クランクケース合わせ面のガスケットをきれいに取り除いて下さい。
クランクケースの汚れや、油分をきれいに取り除いて下さい。
使用されていた10mmのクランクケースノックピン 2個を同封の上、輸送中の破損等の防止のためクランクケースの周りをクッション性の良い物で覆ってから梱包し、お送り下さい。

ご注意

- ・クランクケース加工に伴い肉厚が薄くなり、強度が落ちます。あらかじめご了承下さい。
- ・クランクケース加工時に巣等が発見された場合、当社はその責任を負いません。あらかじめご了承下さい。
- ・ご使用中においても損傷する場合がありますが、当社はその責任を負いません。あらかじめご了承下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>